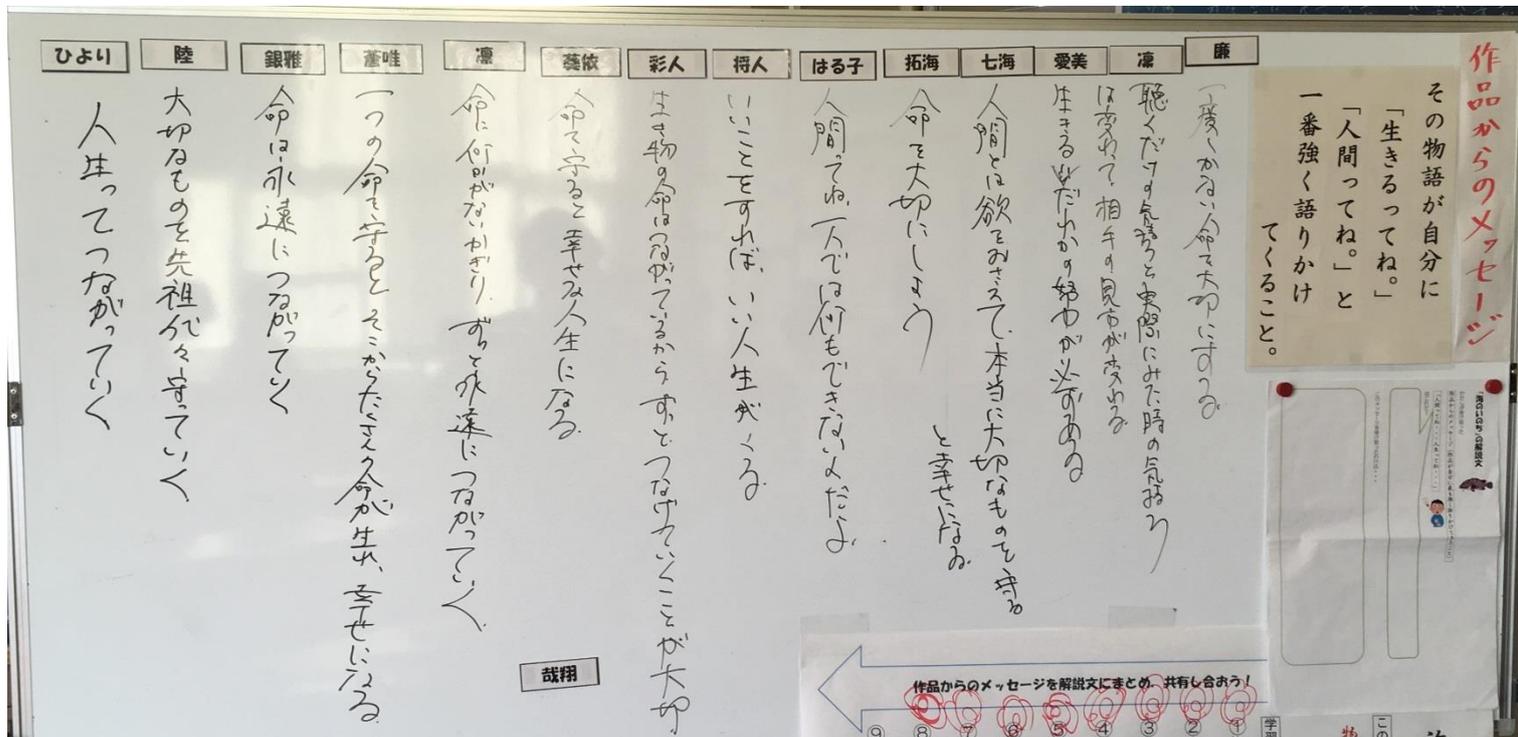
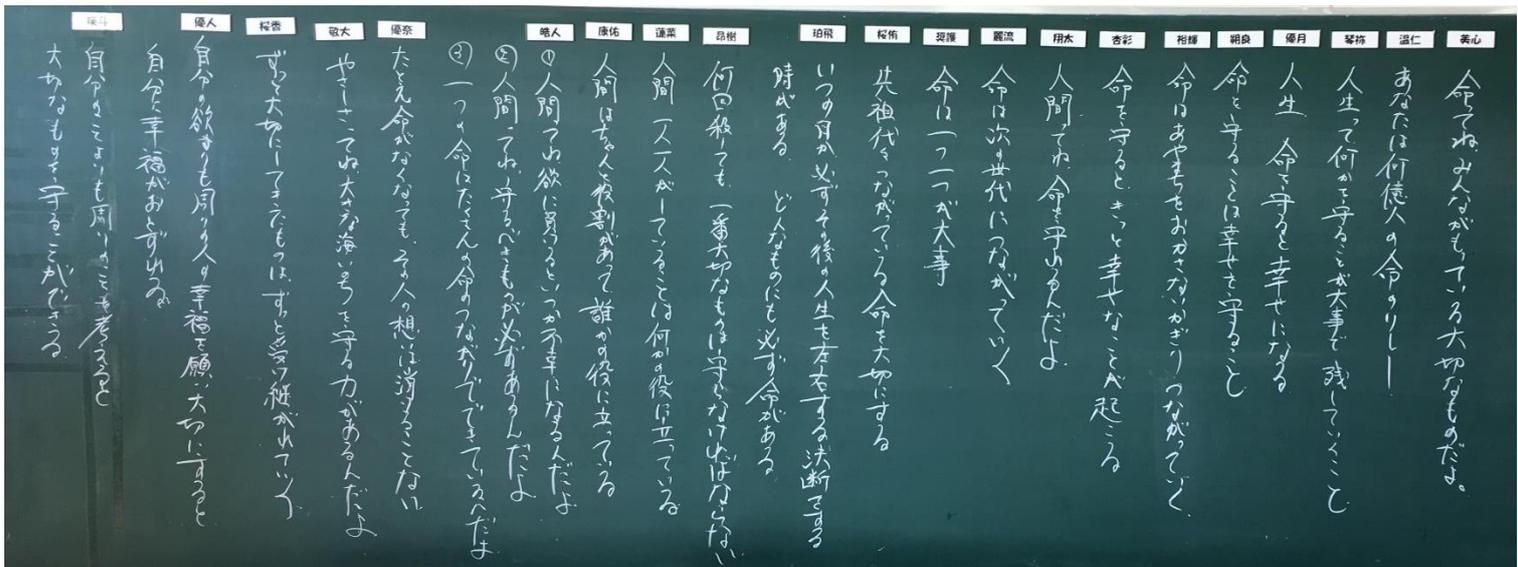




研究の授業ではありませんが・・・「海のいのち」9時間扱いの最後の授業です。作品からのメッセージと、そのメッセージを受け取った理由を解説文にまとめた子ども達。この時間は、一人一人受け取った作品からのメッセージを語り合い、全体で共有しました。1時間目の初読では作品からのメッセージを受け取れなかった子どもも多くいました。しかし、9時間の学習で、子ども達は作品を詳しく読み、思考し、感動の中心を捉えることができるようになりました。きっと、子ども達も「たしかにメッセージを受け取れた！」と自信が付いたと思います。また、友だちのメッセージを聞くことで、「なるほど、友だちはこのように受け取ったんだ。」「いろんな捉え方があって面白い。」「他の作品も読んでみたい。」と感じたことでしょう。

昨今、若者の読書離れが深刻化しています。国語の学習の最大の目的は「読書好きを増やすこと」です。子ども達が、物語を学習してよかったと思えるような授業を心がけたいです。その積み重ねにより、きっと、子ども達の学びに向かう力が育っていくと思います。



授業研をとおして、私が受け取った“研発からのメッセージ”は、「人生ってね、自分の思うようにはいかないんだよ。だから、常に学び続けるんだよ。」です。更に研究を深めて、子ども達全員が笑顔になる授業を創りあげていきたいです。サポートしてくださった先生方に感謝します！